

特産品相互取扱協定 自治体紹介

本市と特産品協定を締結している自治体を
紹介します。 問合せ 農林水産課



⑳ 静岡県裾野市



▶平成29年4月5日、
高村謙二 裾野市長（左）
と協定を締結

裾野市の特産品



水ギョーザ



日本酒



ぎょうざ



スモークチーズ



焼酎



そば



うどん



スモークベーコン



サブレ

- 面積：138.12km²
- 人口：52,440人・21,652世帯（平成30年3月1日現在）
- 市の花：アシタカツツジ ●市の木：スギ ●市の鳥：ウグイス

裾野市は、昭和27年4月1日、小泉村と泉村が合併し裾野町となり、その後編入を経て、昭和46年1月1日に市制施行しました。静岡県東部に位置し、富士山、箱根山、愛鷹山などの緑豊かな自然に恵まれ、また首都圏からも近く、日本を代表する世界的な企業が集積する先端技術の研究都市として発展しています。

裾野市には泉村・小泉村という村名があったこと、また、現在のJR裾野駅は佐野駅と呼ばれていたこと、現在、裾野市にある県立裾野高等学校は、佐野実業学校と呼ばれていたことなど、泉佐野市とは地名・名称に共通点があります。

特産品としては、水稻をはじめ、芝やモロヘイヤ、大和芋、里芋、菜花、イチゴなどがあり、特に「すそのモロヘイヤ水ギョーザ」はすそのブランド第1号認定を受け、裾野を代表する特産品となっています。また、日本一早くオープンするスキー場「イエティ」や「富士サファリパーク」などの観光施設もあります。

裾野市は、「みんなの元気と調和でつくる暮らし満足都市」を将来像とし、「富士山の裾野 田園未来都市すその」の実現に向けまちづくりに取り組んでいます。



- 面積：653.36km²
- 人口：162,703人・70,431世帯（平成30年3月1日現在）
- 市の花：菖蒲 ●市の木：ケヤキ

都城市は、平成18年1月1日、都城市・山之口町・高城町・山田町・高崎町が新設合併し誕生しました。交通の要所として、また三股町、鹿児島県曽於市・志布志市の一部を含む25万人の経済圏の中心都市として、さらには南九州における産業・経済・教育・文化の中心的役割を担う「南九州の広域交流拠点都市」として発達しました。

特産品は、温暖な気候と肥沃な土壌という恵まれた自然環境のもと、農業が盛んで、豚、肉用牛、ブロイラー、らっきょう、ごぼう、さといもの農業産出額は全国上位を占め、特に、肉用牛、豚、ブロイラーの産出額が全国1位で畜産王国として知られています。また、蓄積された伝統的技術は、肉製品、乳製品、焼酎、家具、木製品など38業種におよぶ地場産業に受け継がれています。

都城市は、住民一人一人がいきいきと暮らし、このまちに生まれて良かったと誰もが実感できる都市となるために、地域資源を生かし、自然と調和した社会基盤の整備や心はぐくむ教育・文化のまちづくり、産業の振興に努め、まちのイメージアップを図り、南九州のリーダーとなるまちづくりを目指しています。



㉑ 宮崎県都城市

▶平成29年5月10日、
池田宜永 都城市長（左）
と協定を締結



都城市の特産品



牛肉



豚肉



鶏肉



焼酎



発酵調味料など



竹弓



木刀



都城大島紬



ロクロ工芸木製品